

2024年3月期 第3四半期決算

# 決算説明会

2024年1月31日

株式会社 トクヤマ



# 2024年3月期 第3四半期決算のポイント

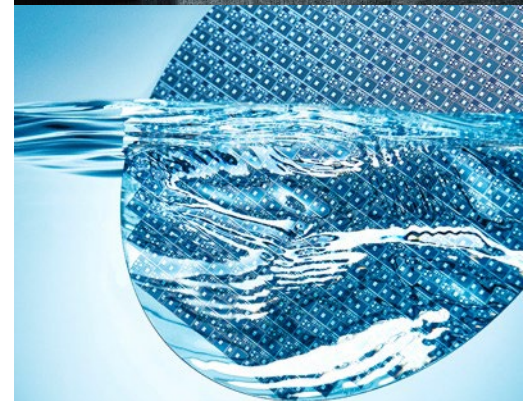
- 半導体市場の低迷により、半導体関連製品の販売が軟調に推移したこと等により減収
- 営業利益はセメントや化学品の国内販売の価格修正が進んだこと等により増益
- 半導体市場の動向等を踏まえ、通期業績予想を修正

## CONTENTS

- ① 2024年3月期 第3四半期決算
- ② 2024年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

# ① 2024年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



## 1. 決算概要

(億円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,590	2,502	△87	△3	半導体関連製品の販売数量減少
営業利益	131	169	+37	+29	セメント、化学品国内販売価格修正 ヘルスケア関連製品販売堅調
経常利益	133	169	+36	+28	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	119	+33	+40	経常利益の増加
1株当たり 四半期純利益 (円)	118.51	165.49	-	-	-
為替 (円/\$)	137	143	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	79,800	68,000	-	-	-

## 1. 決算概要

(億円)

	2023年3月末	2023年12月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,783	4,576	△207	現金及び預金の減少 売掛金の減少
自己資本	2,294	2,402	+107	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	48.0%	52.5%	+4.5pt	-
有利子負債	1,424	1,186	△237	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.62	0.49	△0.13	-
ネットD/Eレシオ*	0.32	0.28	△0.04	-
1株当たり純資産 (円)	3,189.01	3,338.84	-	-

\*ネットD/Eレシオ： (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

## 2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

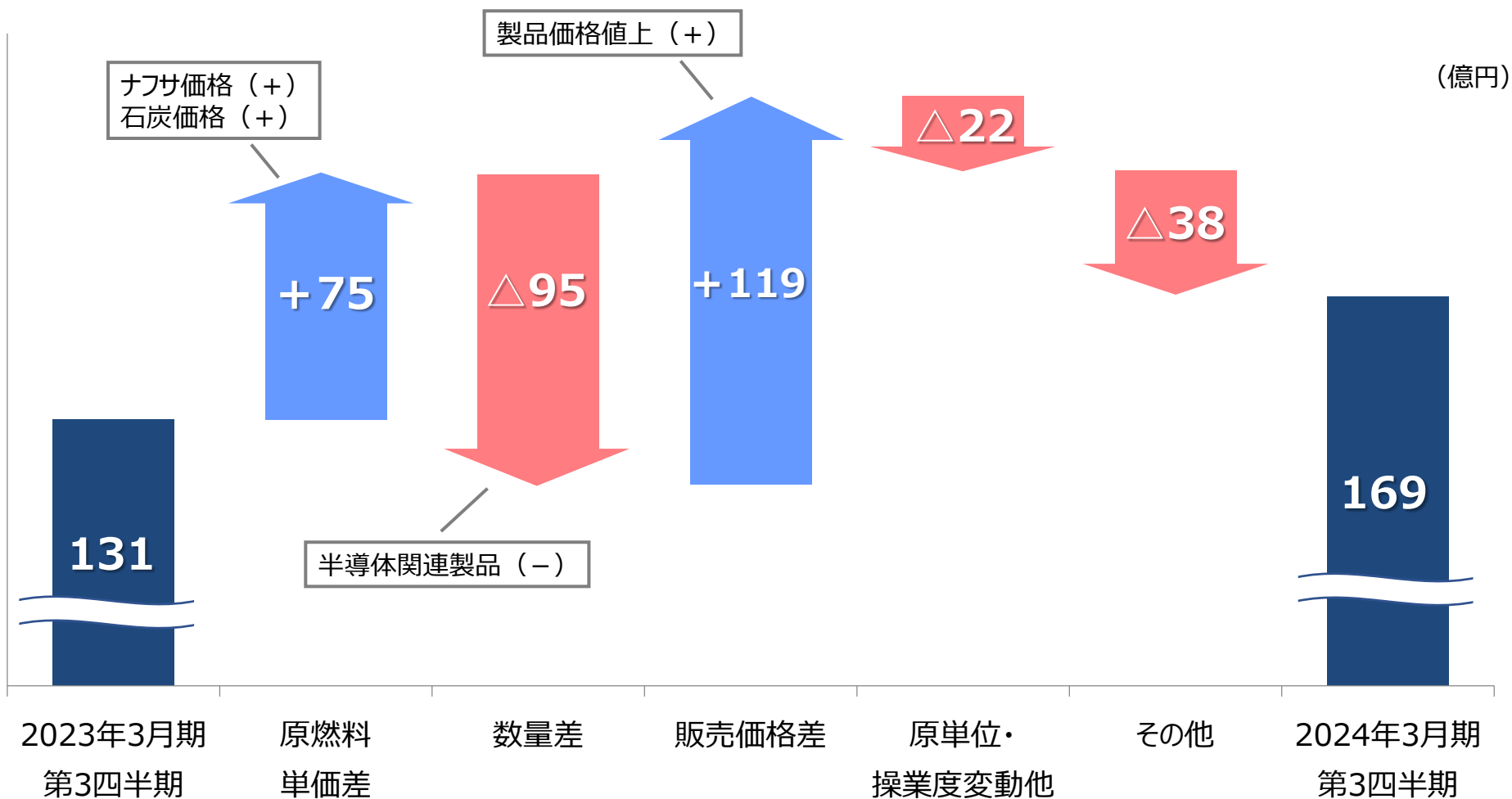
	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	864	47	862	88	△1	△0	+41	+88
セメント	438	△28	506	47	+68	+16	+76	-
電子先端材料	670	69	540	5	△130	△19	△64	△92
ライフサイエンス	279	56	294	59	+14	+5	+2	+5
環境事業	103	3	54	△3	△49	△48	△6	-
その他	335	21	323	12	△12	△4	△8	△42
計	2,692	169	2,581	210	△110	△4	+41	+24
セグメント間 消去・全社費用	△102	△37	△79	△41	+23	-	△3	-
連結決算	2,590	131	2,502	169	△87	△3	+37	+29

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

## 3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別





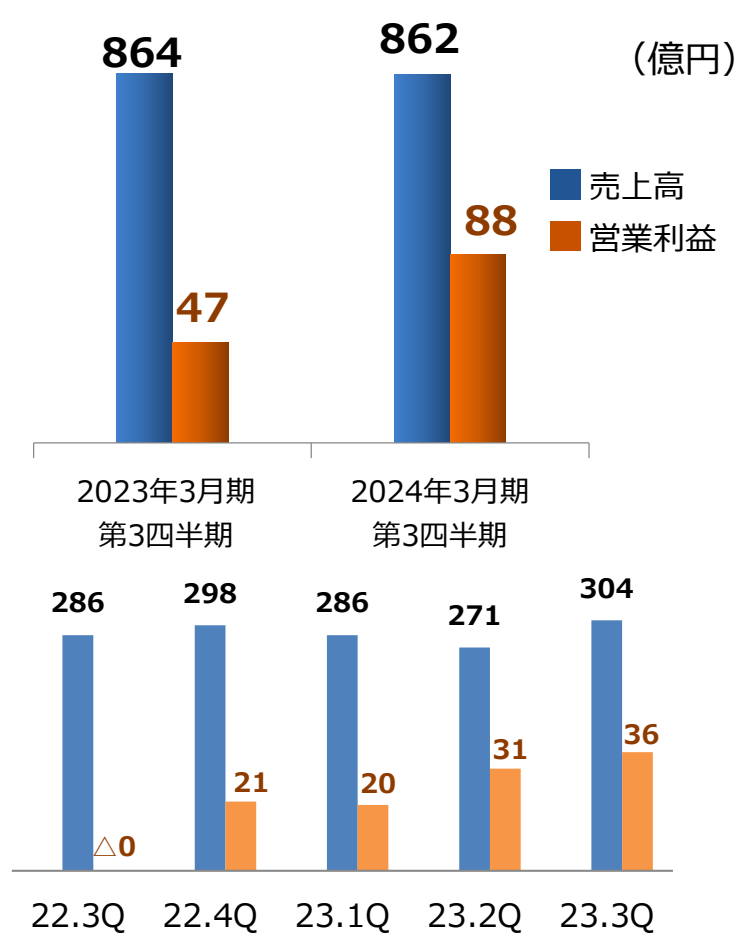
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

## 化成品

減収増益

## 定性情報



(苛性ソーダ)

- ・販売数量は減少したものの、国内の販売価格修正を進めたことにより増益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・販売数量の減少や塩化ビニルモノマーの海外市況が下落したこと等により減益

(ソーダ灰・塩カル・カレット)

- ・販売数量は減少したものの、販売価格修正を進めたことにより増益

## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

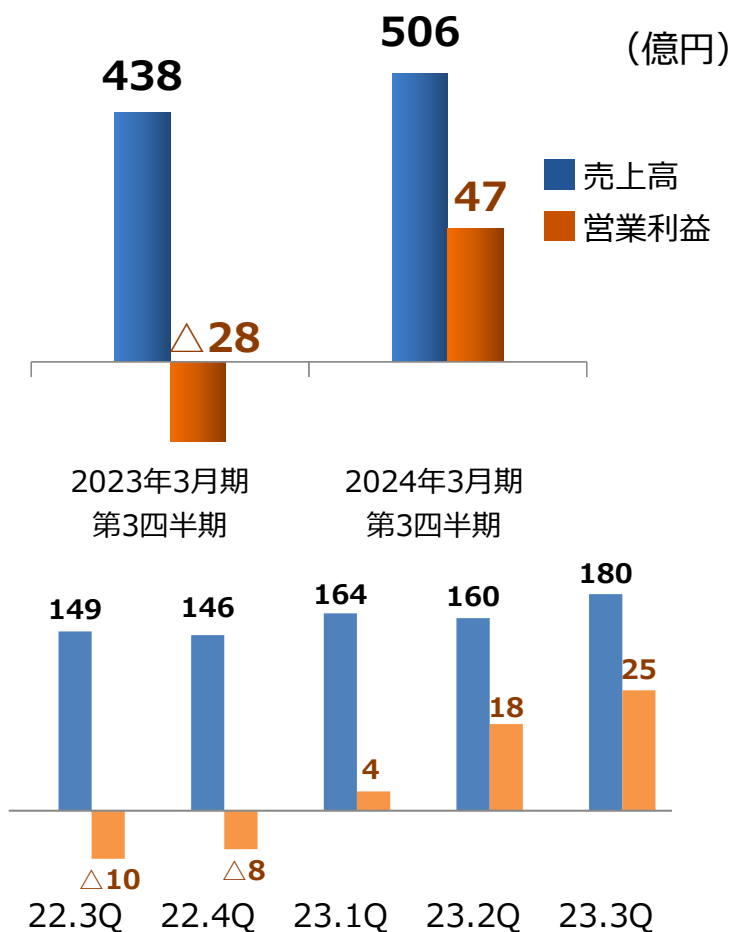
## セメント

増収黒字転換

## 定性情報

(セメント)

- ・国内出荷は前年同期比で微減となったものの、販売価格是正を進めたことにより、損益が改善



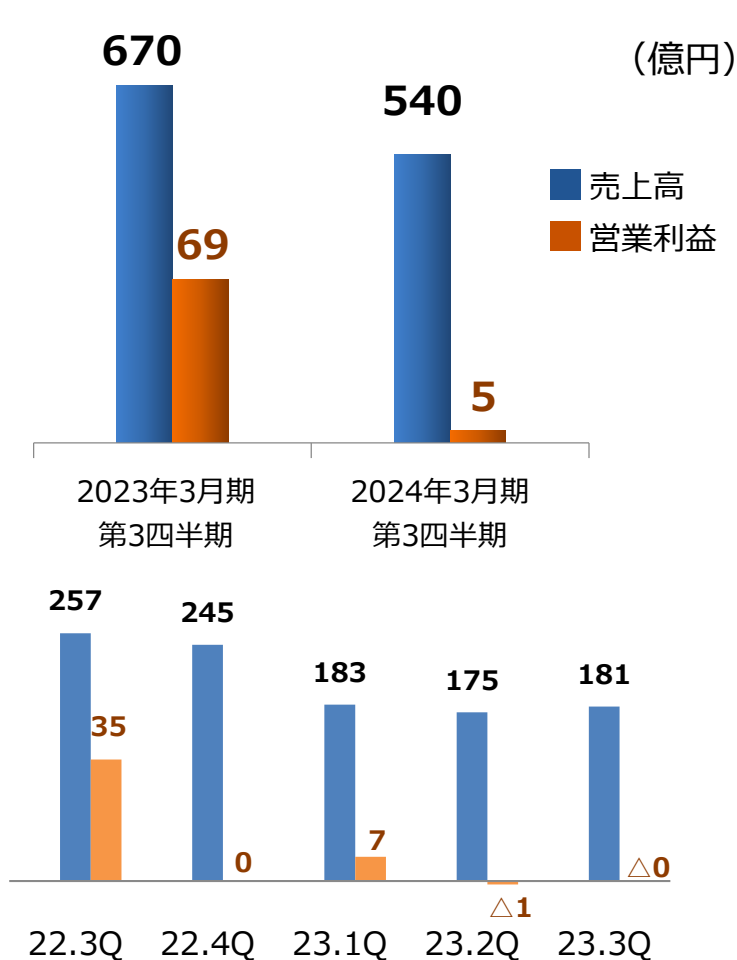
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

## 電子先端材料

減収減益

## 定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- 半導体市場の減速により販売数量が減少し減益

(ICケミカル)

- 台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率向上やコスト削減等により損益が改善

(乾式シリカ)

- 半導体市場の減速や中国の景気低迷により販売数量が減少し減益

(放熱材)

- パワーデバイス用途の販売が堅調だったこと等により、増益

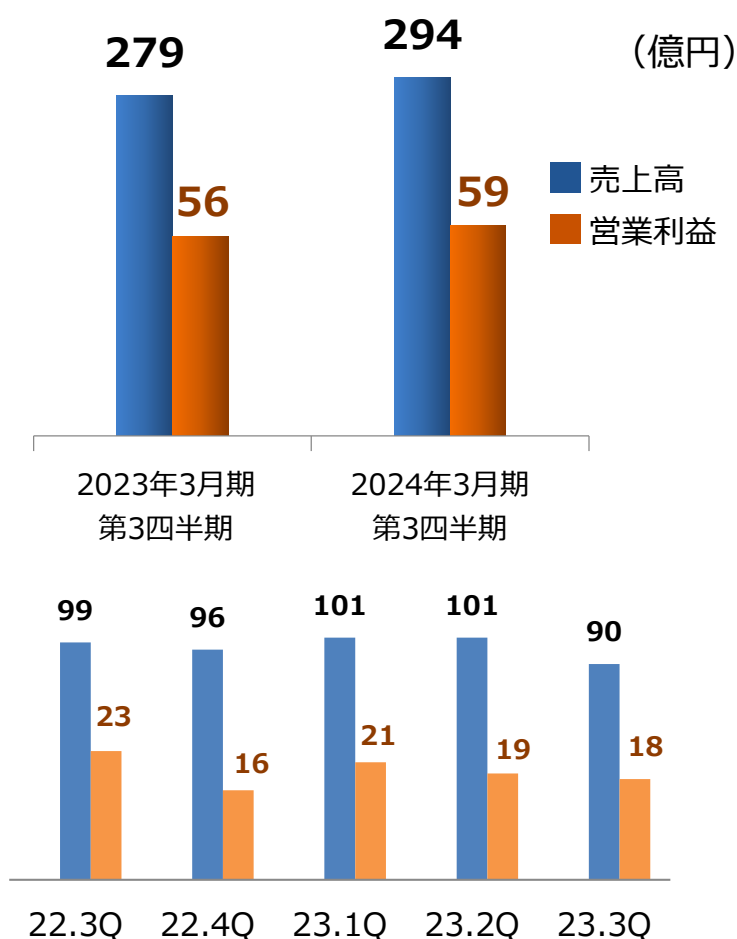
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

## ライフサイエンス

増収増益

## 定性情報



(歯科器材)

- ・国内外の販売が堅調だったことにより、前年同期並みの業績

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少したものの、コスト削減により前年同期並みの業績

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績

## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

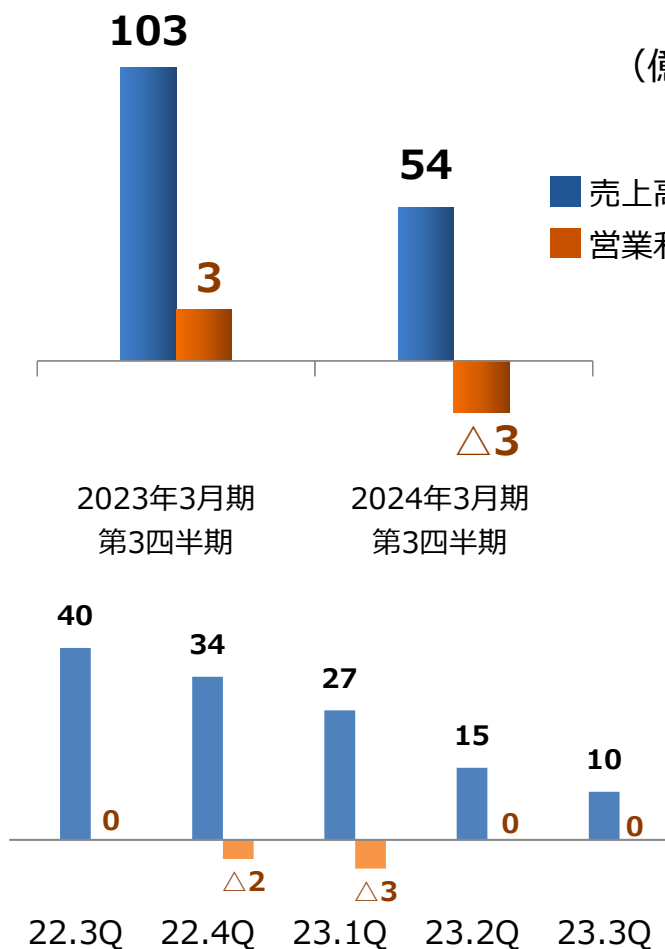
(前年同期比)

## 環境事業

減収赤字転落

## 定性情報

(億円)

■ 売上高  
■ 営業利益

(イオン交換膜)

・出荷が減少したことにより減益

(廃石膏ボードリサイクル)

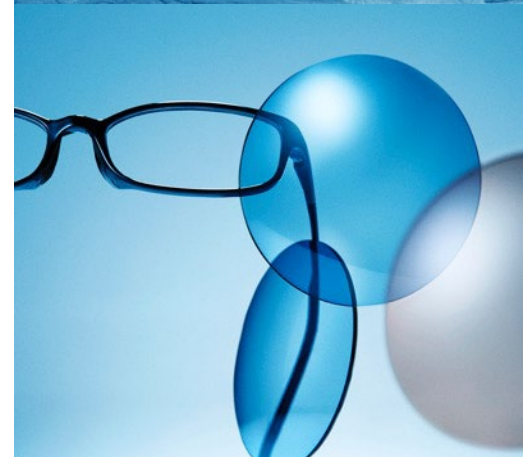
・廃石膏ボード収集量の減少等により減益

(樹脂サッシ)

・エクセルシャノンが持分譲渡により2Qから連結除外

## ② 2024年3月期 業績予想

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正



## 1. 業績予想修正

'23/10/27公表値から修正

(億円)

	2024年3月期 予想 (2023/10/27公表)	2024年3月期 予想 (2024/01/31修正)	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,550	3,450	△100	△3	半導体関連製品・化学品の 販売数量減
営業利益	300	260	△40	△13	売上高の減少
経常利益	300	260	△40	△13	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	220	180	△40	△18	経常利益の減少
1株当たり 当期純利益 (円)	305.76	250.17	-	-	-
為替 (円/\$)	上期実績 : 141 下期前提 : 140	1~3Q実績 : 143 4Q前提 : 145	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	上期実績 : 64,500 下期前提 : 72,000	1~3Q実績 : 68,000 4Q前提 : 69,500	-	-	-

半導体市場の動向等を踏まえ、2023年10月27日に公表した数値を修正する

## 2. セグメント別業績予想修正

'23/10/27公表値から修正

(億円)

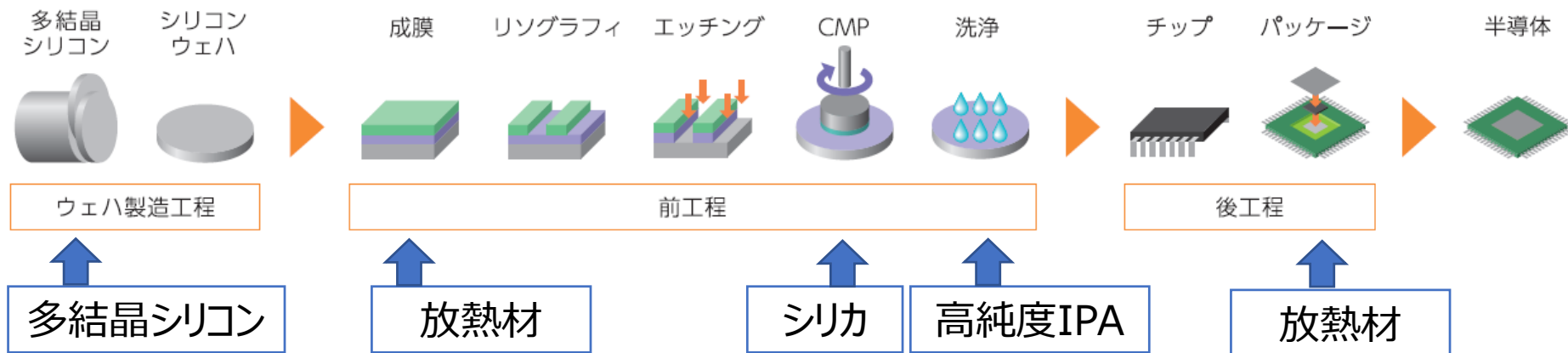
	2024年3月期 予想 (2023/10/27公表)		2024年3月期 予想 (2024/01/31修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,220	140	1,190	130	△30	△2	△10	△7
セメント	680	60	680	70	-	-	+10	+17
電子先端材料	800	40	750	20	△50	△6	△20	△50
ライフサイエンス	420	90	420	90	-	-	-	-
環境事業	80	0	80	0	-	-	-	-
その他	450	30	440	20	△10	△2	△10	△33
計	3,650	360	3,560	330	△90	△2	△30	△8
セグメント間 消去・全社費用	△100	△60	△110	△70	△10	-	△10	-
連結決算	3,550	300	3,450	260	△100	△3	△40	△13

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む



## 2. セグメント別業績予想修正…半導体市況概要

### ➤ 半導体市況：全体感は底打ちもサプライチェーンにより回復時期が異なる



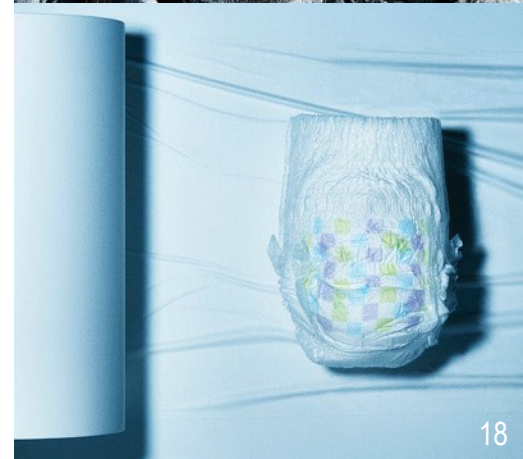
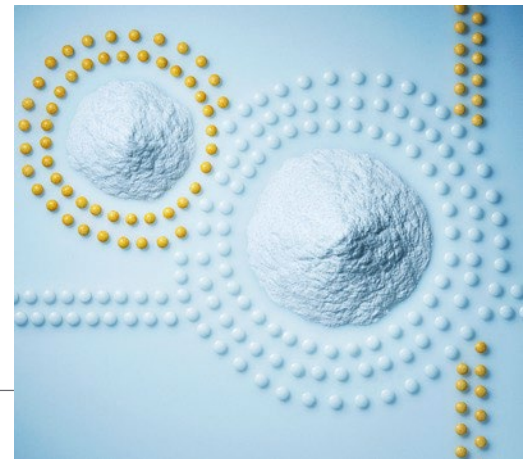
- ✓ メモリー、ロジック：底打ち感あり、回復の兆し(2024年度～)
- ✓ サプライチェーンに在庫が積み上がっている状況もあり、部材により回復時期に差異

### ◆ 市場回復(イメージ)

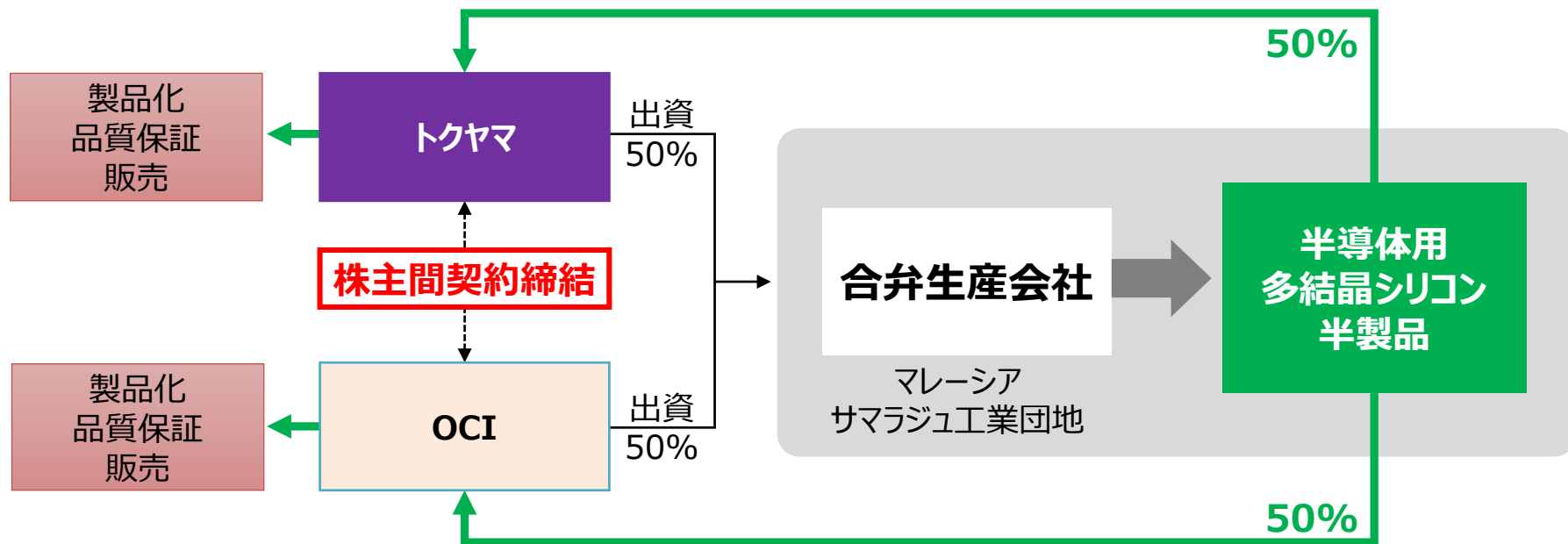


### ③ トピックス

1. 半導体用多結晶シリコン事業の  
合弁契約締結



# 1. 半導体用多結晶シリコン事業の合併契約締結



- ▶ 韓国OCI社と合併生産会社“Sarawak Advanced Materials Sdn. Bhd.”を設立
- ▶ 能力:約8,000トン/年(将来:約10,000トン/年)
- ▶ 投資額: 約US\$300百万 (当社負担:50%)
- ▶ 資本金: US\$168百万
- ▶ 操業開始: 2026年度(予定)
- ▶ トクヤマGr: 持分法適用会社



もっと未来の人のために

**TOKUYAMA** 

## ④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



## ④ 補足資料

## 1. 連結財務諸表（要約）

## 損益計算書

（億円）

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	2,590	2,502	△87	△3
売上原価	1,886	1,777	+109	+6
販管費	571	555	+15	+3
営業利益	131	169	+37	+29
営業外損益	1	0	△1	△72
経常利益	133	169	+36	+28
特別損益	△1	3	+4	-
税前四半期純利益	131	172	+41	+31
法人税等	46	55	△8	△17
非支配株主損益	△0	△1	+0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	119	+33	+40

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

## 1. 連結財務諸表（要約）

## 貸借対照表

（億円）

	2023年3月末	2023年12月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,783	4,576	△207	△4
流動資産	2,536	2,191	△345	△14
有形固定資産	1,553	1,656	+103	+7
無形固定資産	34	34	△0	△0
投資その他の資産	658	693	+35	+5

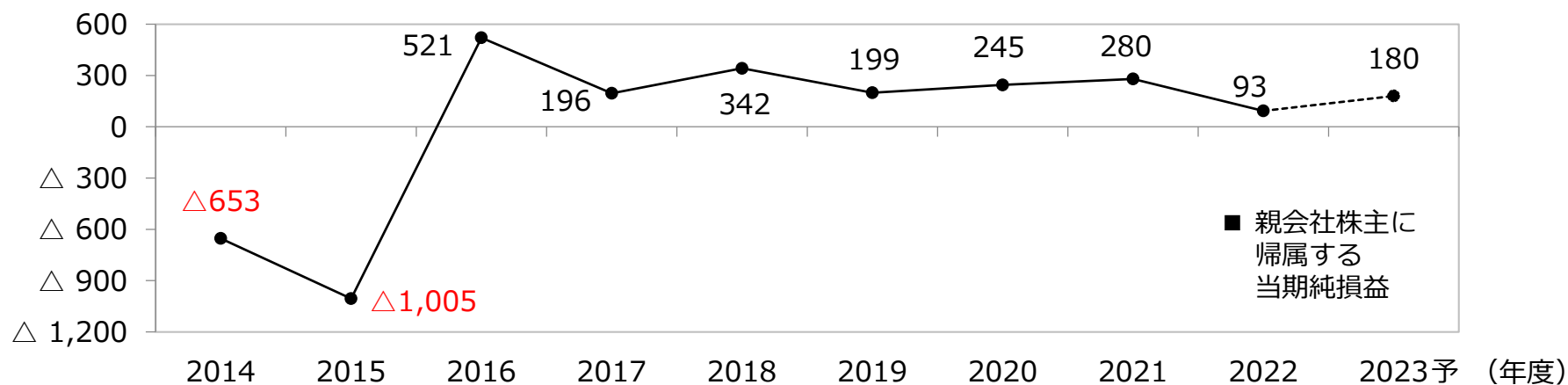
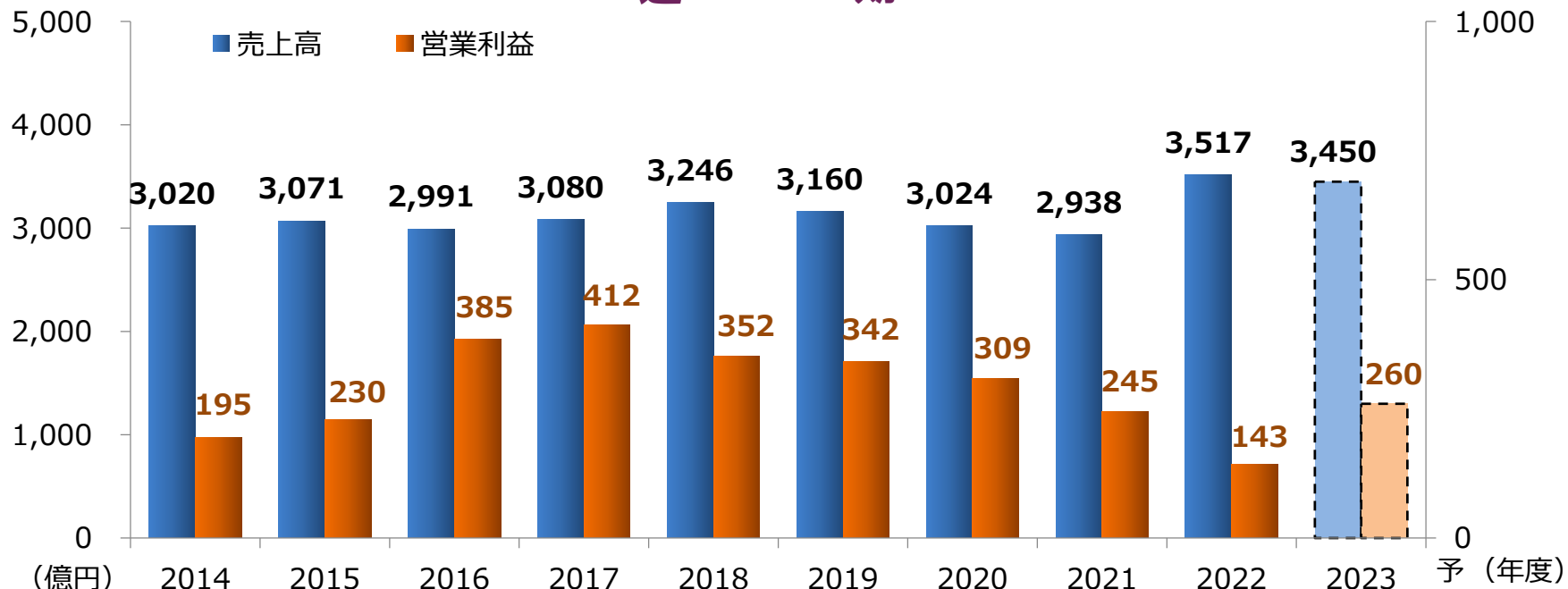
	2023年3月末	2023年12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,367	2,066	△301	△13
流動負債	882	1,135	+253	+29
固定負債	1,484	930	△554	△37
純資産合計	2,416	2,509	+93	+4

## 4. 業績推移

売上高 (億円)

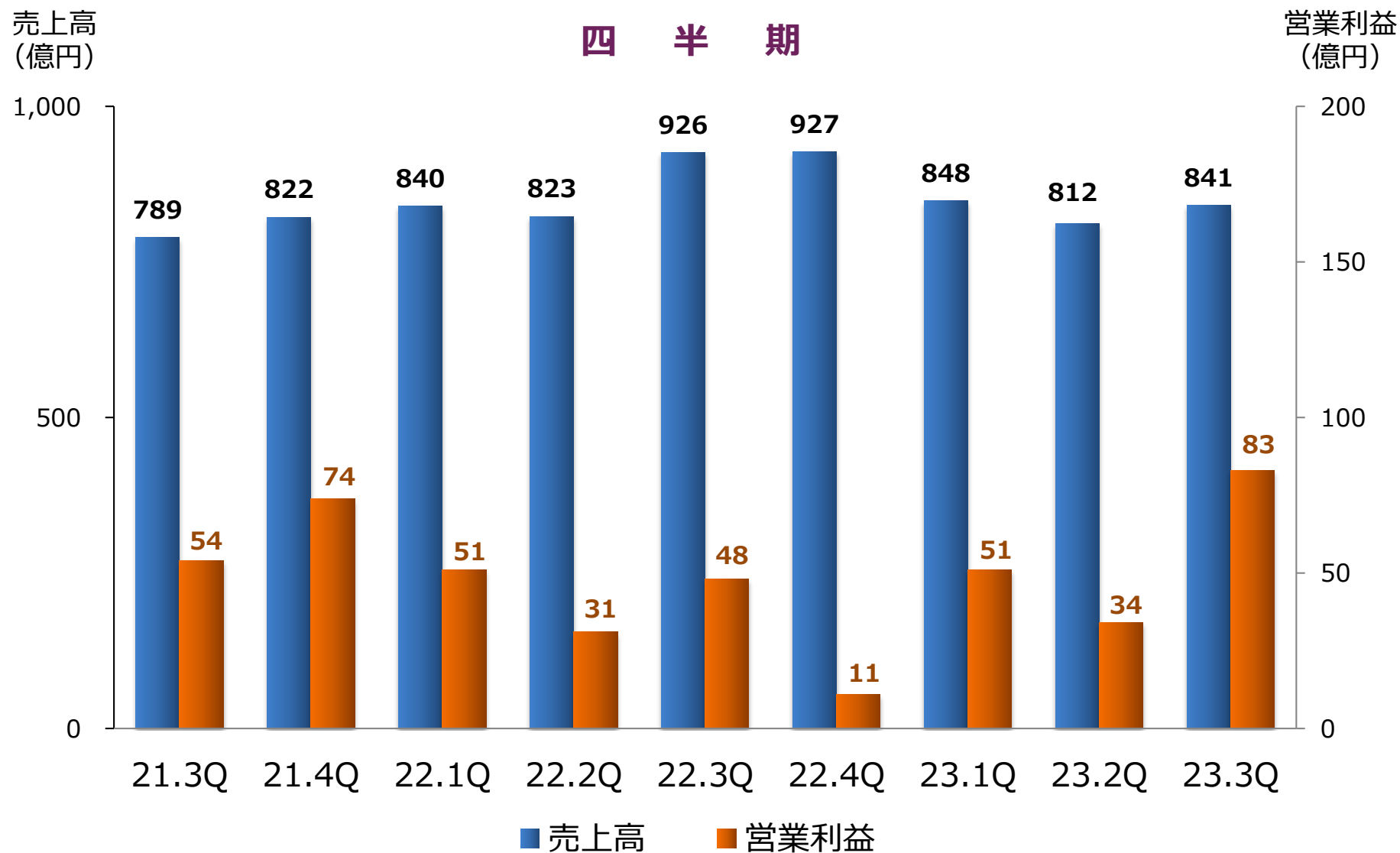
営業利益 (億円)

通 期





## 4. 業績推移



# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

**TOKUYAMA** 